

福岡市NPO活動推進補助金 事業報告

訪問型学習支援「ゆうがお塾」



理事長 永田 充



理念 「子どもが安心して暮らせるまちづくり」

私たちが実現するのは、**子どもたちが安心して遊び、学び、成長し、愛される未来**です。

子どもたちの厳しい現状を改善するには、家族、地域社会にも働きかける必要があります。そのため、「**まちづくり**」という名を掲げています。

 訪問型相談支援

 訪問型学習支援
ゆうがお塾

 フリースペース つばさ

 セカンドティーチャー

 未来トーク

 Learning Space
くすのき

 福岡こども学入門

まちラボのシステム

訪問型相談支援



定期的な訪問で関係を作り、
適切な支援につなげていく

相談の入口として機能

訪問型学習支援 ゆうがお塾



訪問型の学習支援を
行っていく

相談の出口として機能

2018年度の実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問相談	22	41	11	27	16	19	10	13	14	4	14	13	204
ゆうがお	33	40	46	47	35	48	50	38	38	36	43	45	499
訪問支援	55	81	57	74	51	67	60	51	52	40	57	58	703

2018年度の実績

年度（平成）	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
訪問型相談支援事業の延訪問回数	—	—	—	138	204
訪問型学習支援事業「ゆうがお塾」の延訪問回数	29	127	259	377	499
訪問支援全体の延回数	29	127	259	515	703

課題

これまで「ゆうがお塾」をメインとした体制づくりをしてきた



活動が知られていくなかで、相談内容が深刻化、複雑化している



「ゆうがお塾」開始まで時間がかかる



- 訪問型相談支援事業がメインとなる体制をつくっていく
- **もっとつなげやすい支援に変化させていく**

まちラボの新体制

 **訪問型相談支援**

訪問型学習支援
 **ゆうがお塾**

ゆうがおサポート

ゆうがおサポーター（旧 訪問支援員）が訪問する。

勉強するしないではなく、第一に子どもとの関係性を重視し、
対等な立場で、子どもに寄り添う。

関係性の中でサポートをしていき、そこから新しいステップ
に進んでいく

まちラボの新体制

子どもたちに必要なのは
学力でも、コミュニケーション力でも、出席日数でもない

「社会に参加したい」「自分も必要とされている」と思える
支え合いの経験と
受け入れられた経験です。

今後も、どんな自分でも「大丈夫だよ」と
伝えに行く活動を続けていきます。